

取 付 設 置 説 明 書	
ガスビルトインコンロ〔単体設置タイプ〕	
型 式 名	
DC2025S・C2C25KS	
誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。	
警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。

	禁止		必ず守る		分解禁止
--	-----------	--	-------------	--	-------------

設置される方へ（この「取付設置説明書」を設置前に必ずお読みください。）

注意	必ず守る 設置するときは、可燃物との距離を確実に離す 火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。 距離が近いと、火災の原因になります。 周囲の壁が不燃材料以外（タイルやステンレスなどを貼り付けた可燃性の壁も含む）で、トッププレートに貼り付けた防火性能評定品ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。 可燃性の壁に直接タイルやステンレスを貼り付けた場合でも、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し、火災のおそれがあります。 どうしても設置しなければならない場合は、必ず弊社指定の防熱板（別売部品）を取り付けてください。 弊社指定の防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。 ※壁の構造が確認できなかった場合は、必ず弊社指定の防熱板を取り付けてください。→ 3 ページ ・この機器は、単体設置タイプですのでビルトインタイプガスオーブンとの接続はできません。	
警告	必ず守る 機器を安全にご使用いただくため、この取付設置説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う。 必ず守る 建築基準法、当該地区の市、町、村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う 禁止 機器の上には絶対にのらない。また、トッププレートに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけない ごとくやトッププレートが変形し、異常過熱や火災の原因になります。	
注意	必ず守る 設置するときは、手袋をはめて行う 機器の突起物などでけがをする原因になります。 分解禁止 設置で必要なところ以外は絶対に改造、分解は行わない 一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。	
お願い	・乾電池を抜かずに器具栓つまみを「点火の状態」で放置しないでください。 乾電池の消耗が早くなります。 ・乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。 ・この取付設置説明書に基づいて、設置されていることを確認してください。 ・設置が終了したら、8ページの「チェックリスト」に基づいて、必ず再確認してください。 ・この取付設置説明書の記載内容から外れた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。 ・設置終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。 ・取扱説明書に従って、お客さまに機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。 ・この機器は国内専用です。海外では設置できません。	

— 1 —		ケK10
	59271000	

設置前の注意

- ◎設置する機器の確認
- 設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

注意	必ず守る 銘板（トッププレートに貼付）に表示してあるガスに適合していることを確認する 火災、不完全燃焼、異常点火のおそれや、機器が故障する原因になります。 必ず守る ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する 爆発や不完全燃焼の原因になります。 必ず守る この機器は家庭用の調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する 火災、不完全燃焼、機器の故障の原因になります。	銘板 ※図は都市ガス用13Aの場合 部分を確認してください。 品名コード 0000001000 （型式名） 都市ガス用 13A 000KW 12A 000KW 21.02-000000 製造年月・製造No （図は2021年2月生産の例） PS 16 JA88E
-----------	--	--

設置場所の確認

- ◎防火上の離隔距離
- 機器を設置する周囲の壁などが防火上安全な場所か、または防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。
 - この機器は防火性能評定品です。
 - 周囲の壁が不燃材料以外（タイルやステンレスなどを貼り付けた可燃性の壁も含む）で、トッププレートに貼り付けた防火性能評定品ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
可燃性の壁に直接タイルやステンレスを貼り付けた場合でも、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し、火災のおそれがあります。

機器の周囲が可燃物の場合	レンジフードまたは不燃材の場合
正面 側面	正面 側面

- ※＜ ＞内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
※ 1 レンジフードファン以外の場合は 80cm 以上。
※ 2 不燃材料がない場合もしくは、金属以外の不燃材料の厚みが 3mm 未満の場合は、80cm 以上。

- ◎どうしても設置しなければならない場合や、壁の構造がわからない場合は、必ず弊社指定の防熱板（別売部品）を取り付けてください。
弊社指定の防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。

注意	必ず守る 防熱板（別売部品）は、必ず指定のものを使用する 防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付けてください。 防熱板を取り付けないと、火災の原因になります。 ・防熱板は4種類用意しています。 ・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。 ※取り付け方法は防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。	③ ④バックガード用 （ワークトップの後部に） （立ち上がりがある場合） ※イラストはイメージ図です
-----------	--	---

防熱板のお求めは販売店に、防熱板に関するご不明点は、弊社窓口（取扱説明書の裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。

○もくじ

同こん部品	2	機器の設置	4～7
各部のなまえ	2	ガス接続、ガス配管工事	7
設置前の注意	3	設置後の点検確認	8
設置場所の確認	3～4	試運転	8

同こん部品

- ◎同こん部品、付属品の確認
- 次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部 品 名	形 状	個数	部 品 名	形 状	個数
バーナーキャップ(大) ＜左コンロ用＞		1	設置用ネジセット (トッププレート 固定用ネジ2本) (トッププレート 固定用六角ネジ4本)		1
バーナーキャップ(小) ＜右コンロ用＞		1			
ごとく(大) ＜左コンロ用＞		1			
ごとく(小) ＜右コンロ用＞		1	単1形乾電池		2
器具栓つまみ		2	取扱説明書（保証書付） 取付設置説明書		各1

各部のなまえ

【左コンロ】 左コンロ用温度センサー バーナーキャップ(大) ごとく(大) トッププレート	ガス接続口 ※1 【右コンロ】 右コンロ用温度センサー バーナーキャップ(小) ごとく(小) 給気口 乾電池収納部 電池交換サイン 右コンロ用器具栓つまみ 左コンロ用器具栓つまみ 操作部(高温炒めキー)
※ 1：ガス接続口の位置を示す。（透視図）	

— 2 —	
-------	--

- 設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

注意

必ず守る

設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

必ず守る

設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物、可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する

必ず守る

水平で丈夫な場所に設置し、ガタツキがないことを確認する

必ず守る

保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する

設置後、トラブルの原因になったり、点検、修理に支障をきたします。

禁止

機器後方の給気口をアルミマットやテープなどでふさがない
点火不良や不完全燃焼の原因になります。

必ず守る

キャビネットを背板などでふさぐ

・コンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板やアルミテープなどでふさいでください。（図1）
コンロ後方がふさがれていないと、コンロと後方空間や外気との間で異常な空気の流れが生じる場合があります。（図2）
コンロの炎がゆらいだり、消えたり、異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

禁止

引火性の危険物（ガソリン、灯油、ベンジン、接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない

必ず守る

ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する

禁止

棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない
火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。

禁止

この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置しない
著しく機器の寿命が短くなります。

- 上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
- 冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
 - 奥行き600mm以上のワークトップに設置する。

機器の設置

- ◎機器の取り付け 〔標準設置図、機器寸法図〕

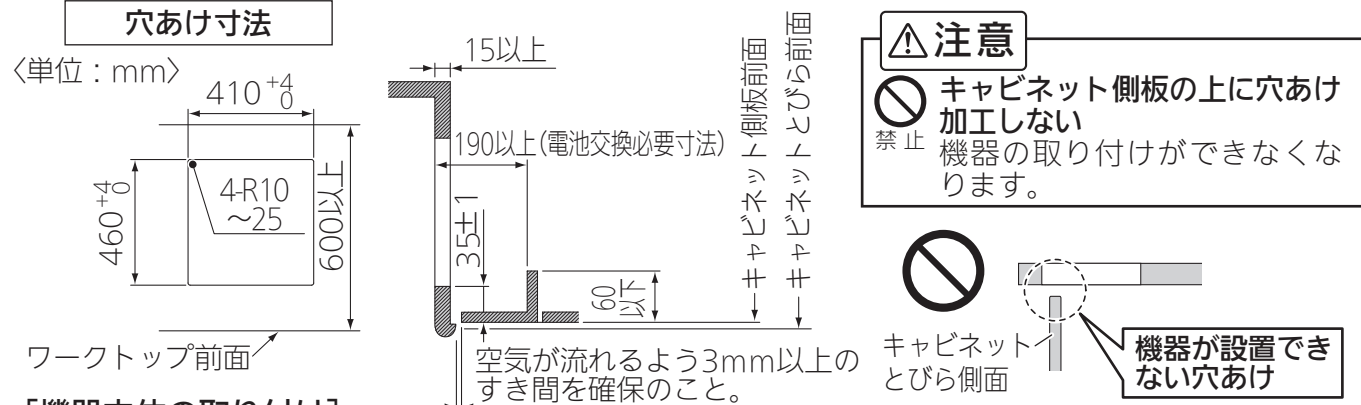
54(ごとく幅) 81 79(ガス接続口) 24 145 126.5 ガス接続口 (Rc1/2) 403 123.5 133.5 キャビネットとびら前面 キャビネット側板前面	506 175 150 75 175 60 96.5 445 電池ケース 54(器具栓つまみ) 〈使用する工具：プラスドライバー〉 ※電動ドライバーは、ネジが利かなくなるおそれがあるので、必ず手動ドライバーを使用してください。 〈単位：mm〉	35 23 (16) 237 (電池ケース) 444 43 242 (ガス接続口) ガス接続口 (Rc1/2)
---	--	---

— 4 —

— 3 —

◎ワークトップおよびキャビネットについて

- ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板(JIS K6903)または同等以上の材料とする。
 ※ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
 ※機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工する。
 ※穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。



[機器本体の取り付け]

作 業 手 順

説 明 図

1. 機器側ガス接続口のキャップの取り外し

- 機器底部左側のガス接続口に取り付けてあるキャップを取り外す。

《取り外したキャップは不要。》

ガス接続口位置は2・4ページ参照

キャップ
(本体底部左側)

2. 機器本体のはめ込み

- 機器の両端を持ち、機器本体をキャビネットに、はめ込む。

※はめ込み時はワークトップなどをキズつけないように注意してください。

※機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取り外さないでください。外れている場合は、取り付けてください。

注意

禁止

絶対にガス配管やバーナーなどを持たない
ガス漏れや異常燃焼
の原因になります。

シールパッキン

3. 機器本体の固定

- 機器本体側面に本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定する。

※機器周囲に取り付けてあるシールパッキンが外れたりしていないか確認してください。外れたり、かみ込みなどしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。

注意

禁止

本体固定ネジを締め
込みすぎない
ワークトップを壊し
たり、コンロが変形
したり、トッププレ
ートが浮く原因にな
ります。

機器本体

本体固定ネジ

シールパッキン

ワークトップ

「部品の取り付け」

作 業 手 順	説 明 図
1. パーナーキャップの取り外し ・トッププレートを取り付ける前にパーナーキャップを外す。 ⚠ 注意 ! パーナーキャップは必ず取り外す 必ず守る パーナーキャップを取り外さずにトッププレートの取り付けを行うと、トッププレートにパーナーキャップが当たりキズなどがつくおそれがあります。	

作 業 手 順	説 明 図
5. パナーキャップ、ごとの取り付け ・パナーキャップ取り付け後、ごとくを正しく取り付ける。 ◎パナーキャップの取り付けかた ・パナーキャップのツメ部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付ける。(点火プラグに衝撃をあたえないようにする。) ◎ごとの取り付けかた ・ごとく内側の凹部(前後2カ所)を、パナーの凸部(前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付ける。 ⚠注意 ! 必ず守る パナーキャップは正しく取り付けると、誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、 ・点火しない場合があります。 ・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。 ・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。 ・機器寿命が短くなるおそれがあります。 ! 必ず守る ごとくは正しく取り付けると、誤った取り付けかた(浮き、裏返し、ズレなど)で使用する、鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりし、やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつく原因になります。	
6. 乾電池の取り付け ・乾電池を2個使用する。 ◎乾電池の確認 ①キャビネットとびらを開ける。 ※電池ケースは、機器本体底部の右側にあります。 ②乾電池の⊕⊖を確かめ、乾電池を組み込む。 ③キャビネットとびらを閉める。 ⚠注意 ⊘ 禁止 乾電池の組み込む方向(⊕⊖)を間違えない間違えたと使用できません。また、発熱や液漏れの原因になります。	

ガス接続、ガス配管工事

◎ガス配管工事

- ### 機器へのガス接続に必要な資格について
- ・都市ガス用機器の場合、内管工事士、簡易内管施工士、ガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
 - ・LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。
- (ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能)
- なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。
- ### 機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換する。
- ### ガス接続方法
- ・ガス接続口：Rc1/2
 - ・ガス栓より下流側のガス接続に使用する部材
- 都市ガスの場合**：六角ニッフルもしくは6cm以上の短管または、金属可とう管を使用
- LPガスで可とう管ガス栓の場合**：金属フレキシブルホース、燃焼器用ホース(接続部がネジ継手のものに限り)、液化石油ガス用継手金具付低圧ホース(屋内で使用する場合は、銅線入りものに限る)を使用
- ・電池ケース部の真下に配管をする場合は、電池交換に必要な空間を設けてください。
- ### 接続、工事後のガス漏れ確認
- ・ガス接続完了後は必ず漏えい検査をしてください。
- 標準配管接続例(都市ガスの場合)〈単位：mm〉

作 業 手 順	説 明 図
2. コネクタの接続 - 操作部用コネクタをトッププレート上の操作部裏側に接続する。 ※操作部用コネクタは機器本体前面にテープで固定されています。接続のときは、テープを取り外してください。	
3. トッププレートの取り付けと、器具栓スピンドルの位置確認 ⚠ 注意 ！ 取り扱うときは、手袋をはめて行う 必ず守る 禁止 外装箱からトッププレートを取り出すときは、トッププレートの開口部に手を入れて持ち運ばない トッププレートが変形するおそれがあります。 ① トッププレート右前部に貼り付けている設置用ネジセットを取り外す。(ネジは④⑤で使用する。) ② トッププレートの後部を浮かしながら、機器本体前部のツメ(2カ所)とトッププレート裏面のツメ(2カ所)をひっかける。 ③ 器具栓スピンドル軸部がトッププレート右前穴部(2カ所)の中心になるようにトッププレートの位置を合わせる。 ※シールパッキングがはみ出ていないことを確認してください。 《トッププレート取り付け時に、操作部用ハーネスを挟まない。》	【器具栓スピンドル位置】 良い例 トッププレート 右前穴部 悪い例 器具栓スピンドル軸部
⚠ 注意 ！ 器具栓スピンドル軸部がトッププレート右前穴部の中心付近にあることを確認する 必ず守る 器具栓スピンドル軸部が中心からズレたまま、器具栓つまみを取り付けると、点火不良の原因になります。 ④ トッププレート固定用六角ネジ(4本)で、トッププレートを機器本体中央部で固定する。 ※左コンロ部から固定してください。 ⑤ トッププレート固定用ネジ(2本)でトッププレートを機器本体後部で固定する。 ⑥ トッププレート取り付け後、トッププレートに貼り付けている注意テープを取り外す。 《必ず手動ドライバーを使用！》 ※電動ドライバーは、ネジが利かなくなります。	【断面図】
お願い - トッププレートの取り付けは確実にに行い、浮きがないことを確認してください。 - トッププレートの表面に汚れ、キズなどがなければ確認してください。 - トッププレート表面に指紋などが付着した場合は、台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。	トッププレートの固定 ④→⑤の順に取り付ける ⑤ トッププレート固定用ネジ(2本) ④ トッププレート固定用六角ネジ(4本) 左コンロ部から固定 注意テープ
4. 器具栓つまみの取り付け 器具栓スピンドル軸部に器具栓つまみ穴部を合わせ、器具栓つまみ表側の目印が上になるようにして、奥まで差し込む。	器具栓 つまみ 器具栓 スピンドル

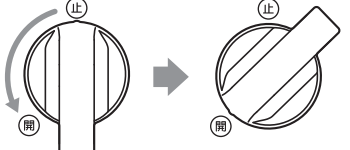
設置後の点検確認

- ・設置が終了したら、チェックリストに基づいて、必ず再確認を行う。

チェックリスト

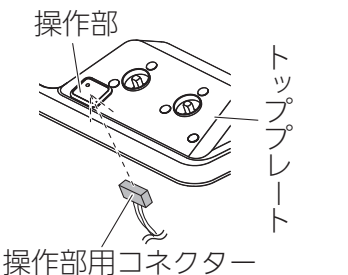
点検項目		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガ ス 種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	3	
	同 じ 部 品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	2・5~7	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	3~4	
	設 置 条 件	障害物などの離隔距離は十分ですか。	3~4	
	保守、管理上の空間	点検、修理に必要な空間はありますか。	4	
	水 平 設 置	水平に設置されていますか。	4	
	安 定 設 置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	4~5	
	シールパッキン	シールパッキンは確実に取り付けられていますか。	5	
	給 排 気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	4	
	乾 電 池	正しく取り付けられていますか。	7	
キャビネット	キャビネットに背板がありますか。(機器後方に穴があいていないか。)	4		
ガス接続、ガス配管工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	7		
ラベル貼付	接続員の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。	—		
高温炒めモード	試運転時に高温炒めモードが設定できますか。(3秒以上押す) ※	8		

※高温炒めモードの動作確認(左コンロのみ)

	点検手順	正 常	異 常
1	ガス栓を開く。	—	—
2	左コンロの器具栓つまみを「開」の位置まで押し回し、「点火の状態」にする。  押し回す 点火の状態	ブザー音：なし お知らせ表示：なし	ブザー音：『ピー』(3回) お知らせ表示：なし
3	「高温炒めキー」を3秒以上押す。  点滅 3秒押し 高温炒め 3秒以上押す	ブザー音：『ビビビッ』 お知らせ表示：点灯  点灯 (3秒押し) 高温炒め	ブザー音：なし お知らせ表示：なし

高温炒めモードの動作確認できないとき

- ※操作部用コネクタの接続を確認する。
操作部用コネクタは、『カチッ』と音がするまで確実に接続する。
(6ページ「2. コネクタの接続」参照)
※操作部用コネクタが挿入不足の場合は、高温炒めモードの設定ができません。



試運転

- ・正しく設置されていることを確認してから、機器のガス栓を開き、取扱説明書の「使いかた」に基づいて点火および試運転を行う。
- ・試運転終了後は、必ず器具栓つまみを「消火の状態」にする。
- ・試運転終了後、長期間使用しないときは機器のガス栓を閉めて、乾電池を取り外す。